



平成30年度

市町村議会議員研修 [3日間コース] 社会保障・社会福祉

今回は、「2025年問題」をテーマに、高齢者の医療と介護を中心に3日間の研修を実施します。

少子高齢、人口減少の進行が日本社会において大きな課題となっているなか、2025年には、団塊の世代が後期高齢者となり、かつて経験したことのない超高齢社会に突入することとなります。

研修では、現在の状況や制度を理解したうえで、介護、地域包括ケアシステム、地域医療、認知症予防等に関する講義や事例などを通して理解し、今後、地域としてどのような仕組みづくりを進めていくことができるのかなどについて考えます。

※本研修は、全国市議会議長会及び全国町村議会議長会との共催で実施します。

開催要領

日程 平成30年7月4日(水)～7月6日(金) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 市町村議会議員の皆様

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください(市区及び町村の区分における申込者の人数により、受講者の人数を按分して抽選、決定します)。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 9,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年5月24日(木)まで

申込方法 議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込ください。※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成30年

7月
4日(水)

11:00～
入寮受付・昼食

12:30～
開講式・オリエンテーション

13:00～15:35
講義 2025年問題と社会保障政策

政策研究大学院大学 教授 小野 太一 氏

3日間の最初の講義として、我が国が直面している少子高齢社会の現状についてお話しいただき、それらに対応した社会保障政策についてご講義いただきます。

15:50～17:00
演習 意見交換

政策研究大学院大学 教授 小野 太一 氏

冒頭の講義を踏まえ、それぞれの地域の現状や課題等についてグループに分かれて意見交換します。その後、グループごとの意見を全体で共有することで講義内容についての理解を深め、2日目以降の研修に繋がります。

17:30～
交流会 とともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成30年

7月
5日(木)

9:25～12:00
講義 介護保険と地域包括ケアシステム

淑徳大学コミュニティ政策学部 学部長・教授 鏡 諭 氏

介護が必要な高齢者を社会全体で支えるしくみとして2000年に施行された介護保険制度について、その変遷と現状について学びます。そのうえで、介護をはじめ、医療や生活支援サービス等を一体的に提供することを目指した地域包括ケアシステムについて、事例を交えながらご講義いただきます。

13:00～15:00
講義 地域医療の現状と課題

東京大学政策ビジョン研究センター 特任教授 尾形 裕也 氏

地域で安心して生活していくためには、医療の確保が重要です。医療計画や介護との連携、病院経営や医師確保等、地域での医療の確保に関する課題等について、事例を交えながらご講義いただきます。

15:20～17:20
講義 認知症の基礎知識と社会参加による予防の可能性

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員(主任) 鈴木 宏幸 氏

認知症が大きな社会問題となっているなか、認知症について正しく理解し、認知症の基礎知識と認知症予防の考え方について社会参加の観点からご講義いただきます。そのうえで、社会として地域としてどのような取組を進めていけばよいのかについて考えます。

平成30年

7月
6日(金)

9:25～12:00
講義 街全体で人々を看守る街づくり

京都大学経営管理大学院 特定教授 高齢社会街づくり研究所株式会社 顧問 岩尾 聡士 氏

2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が進められているなか、様々な取組が進められています。この時間は、地域全体で弱者を看守り、医療モデルから生活モデルへの転換を目標に、名古屋市でモデル研究を進め、全国に展開する新しい挑戦(IWAOモデル)についてご紹介いただき、これからの地域での取組について考えます。

12:00～12:15
閉講・事務連絡

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。